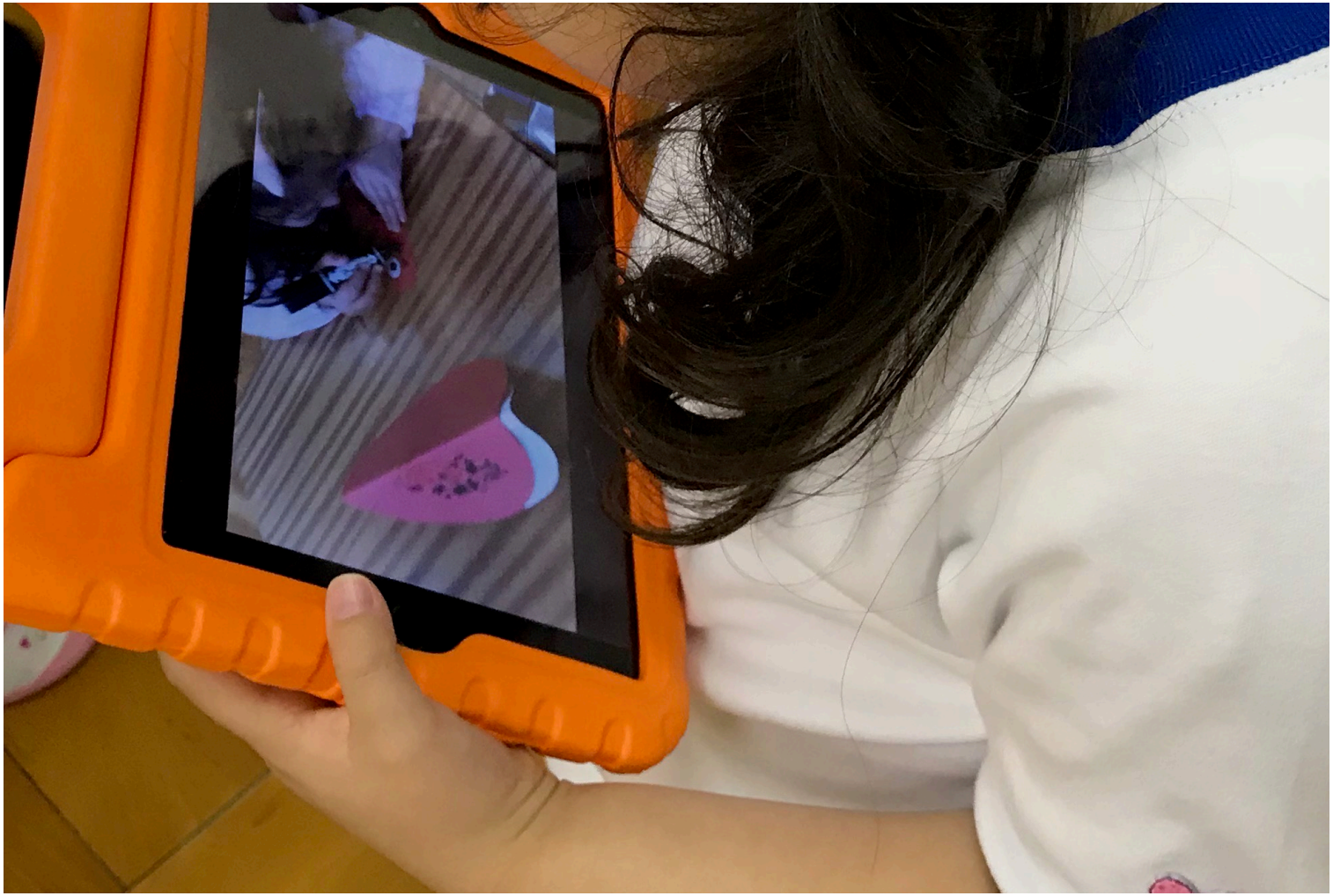
魔法のダイアリープロジェクト　成果報告会
２０１９．１．１９

言葉の「学び」と「伝え合い」を支える iPadの活用

大阪府立寝屋川支援学校　小学部　日置節子

対象児：Sちゃん　４月に入学した１年生

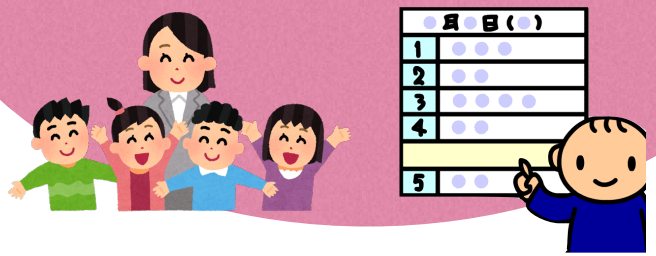
感情表現が豊かで、色々なことに興味を持って楽しむ、活発な女の子



◉知的障害（療育手帳A）　◉太田ステージ　Ⅲ－１

入学した頃のSちゃん

環境の変化



4月

登下校　あそび

登下校　学習活動　あそび

登下校　学習活動　給食　あそび

登下校　学習活動　集団活動・行事　給食　あそび

5月

取り組む活動内容を少しず増やしながら、
スムーズに学校生活に慣れていくことができた

Sちゃんの様子

◉次のことを見て、聞いて、はっきりわかると、
行動がスムーズ（長い言葉での表現は理解が難しい）

「次は着替えをするよ」というゆっくりとした言葉かけと一緒に、
担任に体操服を広げられ、着替えスタート。一人でやり遂げる。

Sちゃんの様子

◉友だちの様子を見て、同じように行動しようとする
（動作模倣の力が高く、活動への取り組みが積極的）

友だちに「Sちゃん、だいふきをしよう」と誘われて「うん」と返事。
手渡された布巾で、楽しげに台拭きをする。

幼稚園との引き継ぎ

◉励まされると苦手なことも頑張れた

◉友だちに好かれるSちゃん

◉落ち着いて集団での活動に参加できた

Sちゃんの「言葉」について気になる引き継ぎ

◉自分から発する言葉が少なかった
◉音声模倣は、単語の最後の一文字を言うことが増えていた
◉友だちの前で自分の名前を言えず、泣いたことがある

Sちゃんの言葉

いろいろなことを伝えているように
見えるSちゃんでしたが・・・

- 見せたい物を、相手のところまで手渡しにいく
  「みってー」
- 友だちが持っている物を、取りに行く
  「かってー」
- トランポリンのある遊戯室の方向を指差す
  担任「トランポリンするの？」Sちゃん「うん！」

「指差し」「行動」に「言葉」を組み合わせ

Sちゃんの「言葉」をピックアップしてみると…

＜呼びかけ＞

せんせー

おはよー

＜相手の言葉への応答＞

うん（同意・返事）

やーや（拒否）

はい（返事）

＜要求＞

かってー（貸して）

みってー（〇〇見て）

てー（〇〇して）

こー（トイレに行きたい）

やーや（やめて）

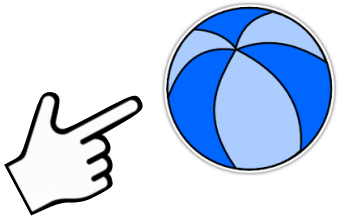
たい（痛いところを押さえて痛い）

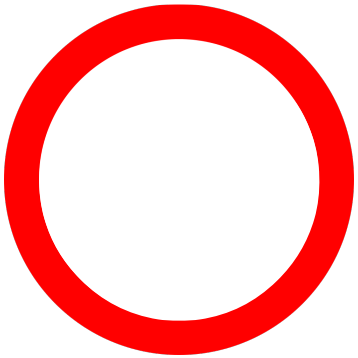
相手に伝わる言葉の種類は多くなかった

Sちゃんの表現の特徴

「〇〇はどれ？」

と聞かれると指差し





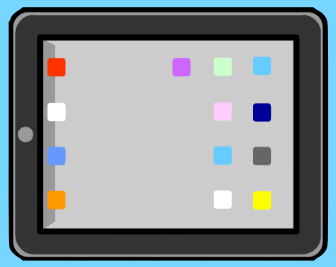
「これは何？」

と聞かれると「・・・」

（言葉にならないことが多い）

Sちゃんの持つイメージと「言葉」を
１つ１つ確実に繋ぎたい

写真・音声・動画で確かめながら
言葉を覚えよう！



取り組む中で意識したこと①

＜覚える言葉の選び方＞

Sちゃんに馴染みの深い「物」や「活動」から言葉を選ぶ

理由：伝え合いを確実に実感できる機会を増やしたいと考えた

取り組む中で意識したこと②

＜覚える言葉を示す方法＞

「画像」と共に「言葉」をはっきりと伝える

言葉には「サイン」も添えて、Sちゃんに伝える

理由：言葉を一音ずつゆっくり、はっきりと話すようにした

Sちゃんは動作模倣が得意。サインも添えるようにした

取り組む中で意識したこと③

＜取り組みの場面をいつにするか＞

日常生活の流れの中で取り組む

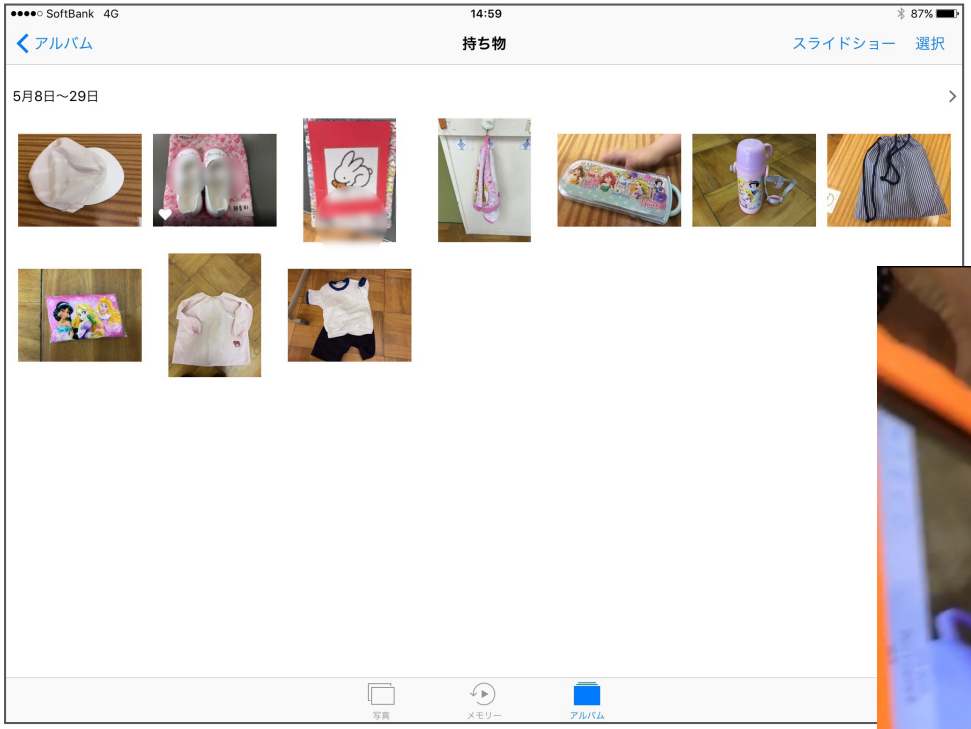
生活リズムが定着した後に学習場面を設定

理由：取り組み初めは生活場面で取り組み、やりとりへの気持ちを高めることを意識した

２学期より、朝の学習時間の中に言葉の学習を取り入れた

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面

Sちゃんの鞄の中やロッカーの中にあるものをピックアップ



片付け時に

①写真を見る　②言葉を聞いたり音声模倣したりする

という活動を繰り返した

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面　その１

◉れんらくちょう　を　Sちゃんが言葉で表現するまで

言葉・写真・サインで確かめよう！

担任：写真を見せる

「れ・ん・ら・く・ちょう」

指で四角を空に描く

（連絡帳の意味の身振り）

Sちゃん：写真を見る

「・・ちょー」と語尾を音声模倣

連絡帳を取りに行く

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面　その２

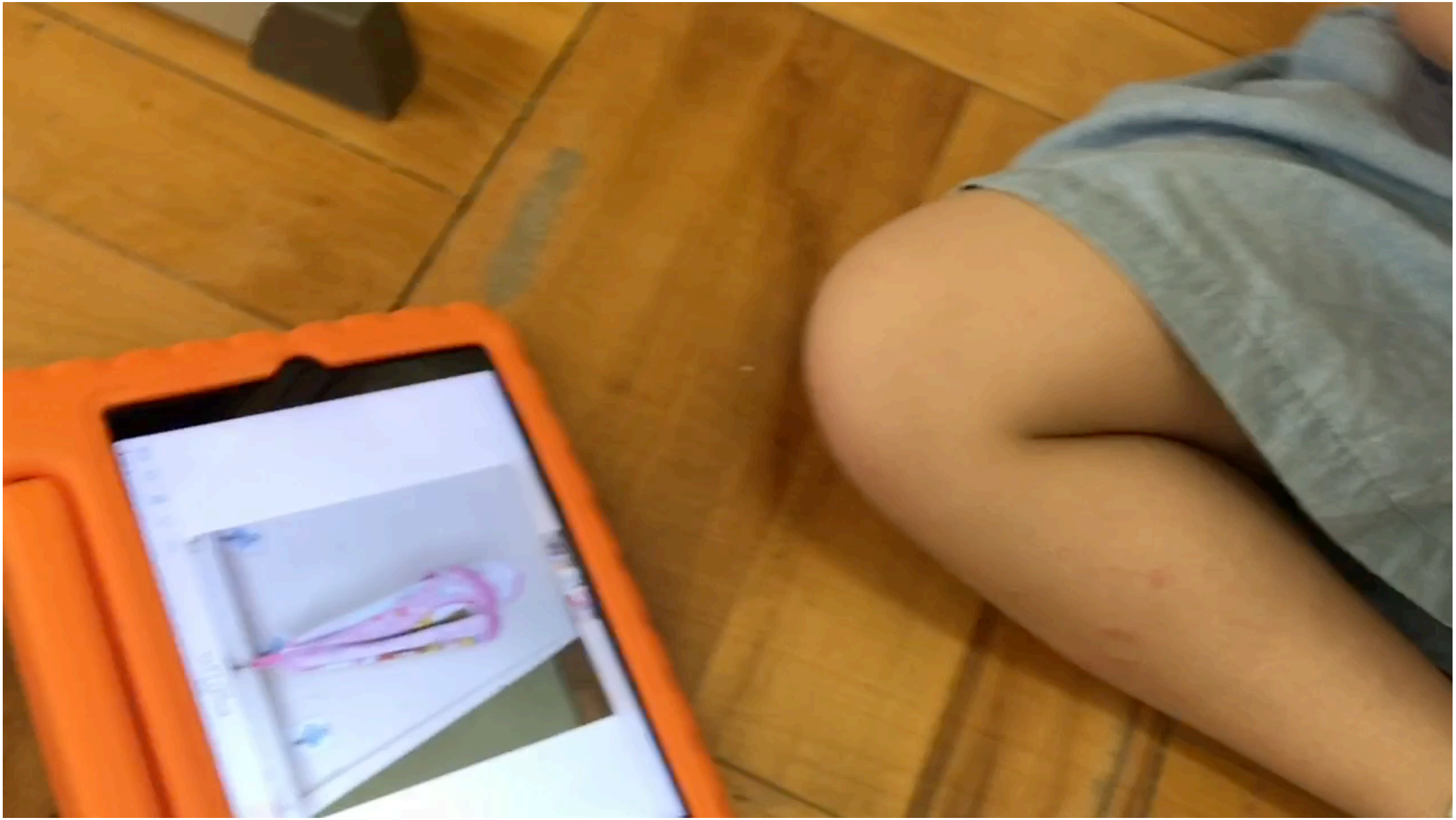
◉れんらくちょう　を　Sちゃんが言葉で表現するまで

担任：「れ」と言いながら、指で四角を空に描く
（　写真は見せない　）

Sちゃん：担任を注視しながら音声表現
「れん・らく・ちょー」

連絡帳を取りに行く

取り組み後の変化　７月　言葉での表現



担任が「これ何？」と尋ねると、「たおる」と答えたSちゃん。「れんらくちょう」「はし」なども決まった場面で自ら言葉にすることが増えてきた。

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

Sちゃんの好きなこと、共有できる楽しい活動を見つける

好きなことの１つ　入学当初から大好きなトランポリン

・活動の様子を写した動画（１０秒程度）を撮った

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

◉トランポリン　をSちゃんが自ら表現するまで

担任：「何をして　遊ぶ？」

Sちゃん：遊戯室の方向を指差し

担任：「と・ら・ん・ぽ・り・ん」

動画を見せる

サインを添える

Sちゃん：言葉・サインを模倣

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

◉トランポリン　をSちゃんが自ら表現するまで

担任：「何をして　遊ぶ？」

Sちゃん：サインで『トランポリン』

担任：「トランポリン　するの？」

Sちゃん：「うん」

取り組み後の変化　７月　表現の増加

教室に帰る途中、自ら『トランポリン』のサインをするSちゃん。
「トランポリン」と話そうとする。担任「行くの？」Sちゃん「うん」

活動を表す言葉を覚えよう

トランポリンの表現獲得までと同じ取り組みを、Sちゃんが日常的に楽しんでいる活動でも並行して行う

＜具体例＞

追いかけっこ

お絵かき

シャボン玉

◉指差し、行動で伝えようとするSちゃんの表出に、即時的に取り組みを加えるようにした

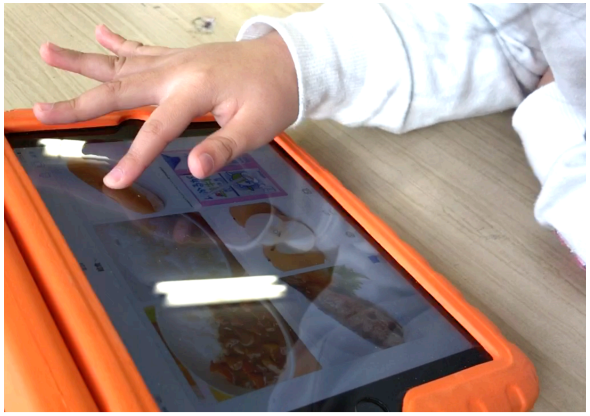
◉動画を見ることが出来ない時は、言葉とサインを使ってSちゃんと確かめ合った

９月より継続中：VOCAを使った取り組み

生活の中の身近な言葉を覚えよう：朝学習（設定場面）

Sちゃんの生活や行事に出てくる言葉をピックアップ

DropTalkの画面写真



アプリ：DropTalk

発表会で扱する動物の言葉を覚えよう：朝の学習

◉「ら・い・お・ん」を　Sちゃんが音声模倣するまで

担任：イラストを見せる

「らいおんは、どれですか？」

Sちゃん：「らいおん」のイラストをタップする

流れる音声を聞いて「らいおん」のサイン

担任：「ら」「い」「お」「ん」

Sちゃんに、一音ずつの音声模倣を促す

Sちゃん音声模倣：「ら」「い」「お」「ん」

VOCAからの音声を聞きながらの学習。言葉は給食の献立からSちゃんが言葉にしやすそうな、音節が少ない言葉を選択。

取り組み後の変化　表現の特徴と表す内容①

◉物や活動を示す「サイン・身振り」の増加

トランポリン　追いかけっこ　シャボン玉　ねんど
お茶　箸　魚　給食　タオル　連絡帳
晴れ　雨　スクールバス　鳥

◉単語での「自発的な言葉」の増加

ペン・〇ーちゃん・パン・らー（デイサービスの名称）えー（遊戯室A）

◉「２語文表現」の兆し

「〇ーちゃん（個人を示すシンボルを指差して）、ない」
：仲良しの友達がいない
「外を指差した後、雨のサイン」：雨が降っている

Sちゃんの、訴え！「これ、知ってるよ！」

友だちのTシャツをさかんに指差し

担任：「何？」「Tシャツがどうしたの？」「？？」

Sちゃん：指を差し続ける

担任：「もしかして？　カブトムシ？」

しばらくカブトムシの写真を見続けたSちゃん。言葉を模倣して確かめた。
「これ知ってるよ！」という指差しが増え始めるきっかけとなった出来事。

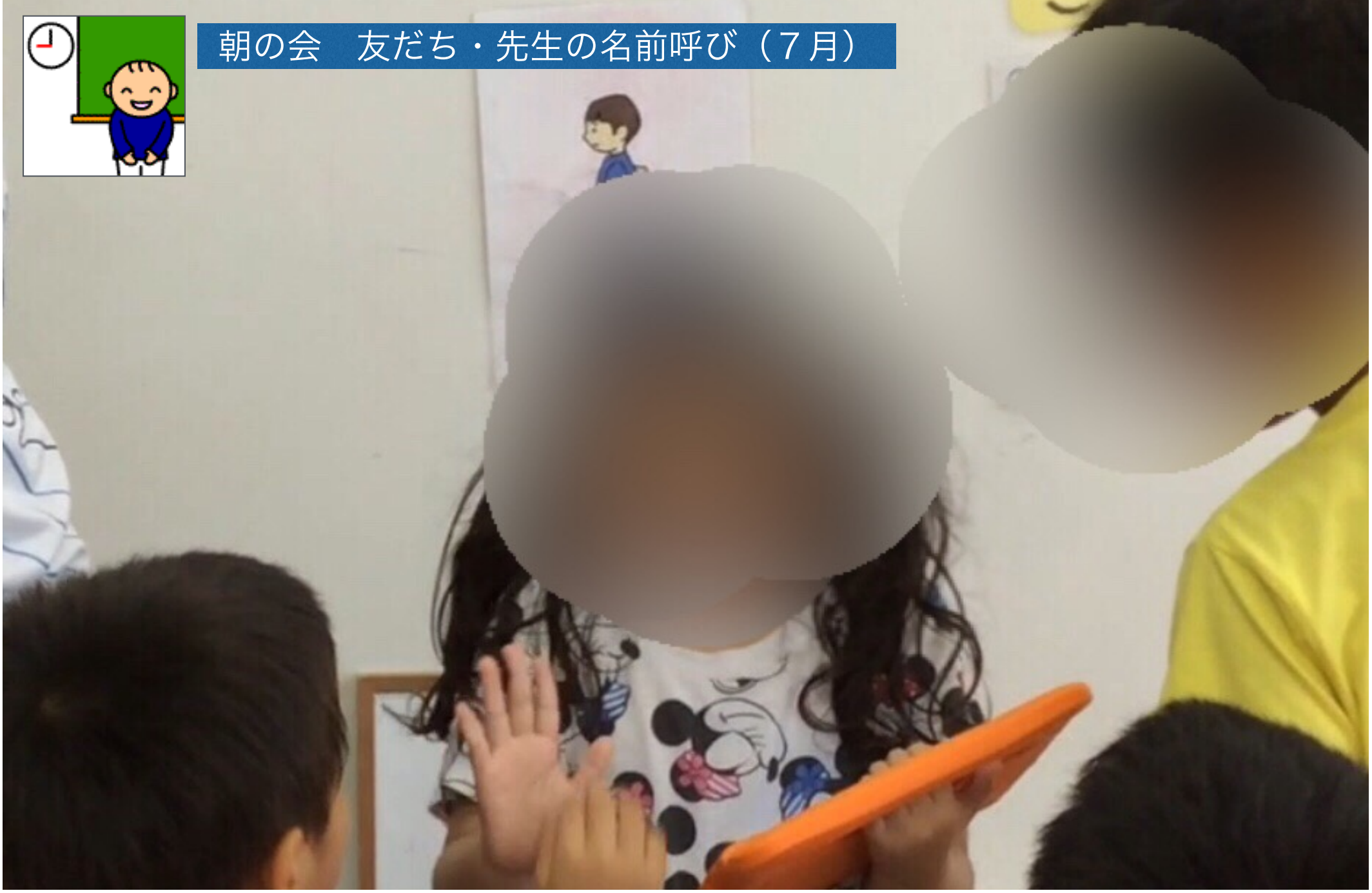
６月より継続中：VOCAを使った取り組み

友だちや先生の名前を呼ぼう：朝の会（設定場面）

DropTalkの画面写真

アプリ：DropTalk

朝の会　友だち・先生の名前呼び（７月）



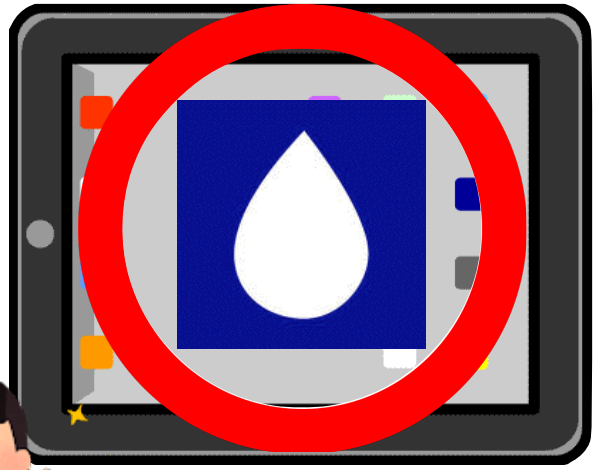
最初はiPadのタップに手間取っていたが、いろいろと試しながら自分でできるようになった。友達が覗き込んで名前を呼ばれるのを待つ。

朝の会　友だち・先生の名前呼び（１１月）

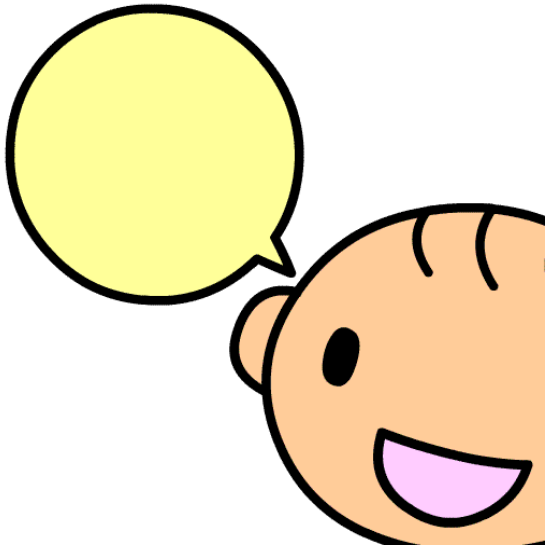
自分の役割に積極的に取り組むSちゃん。アプリの立ち上げや切り替えまで、教師の介入が必要なく自信を持って名前呼びをするSちゃん。

Sちゃんの選択！

VOCAをつかう？



言葉をつかう？



・現在の音声表出の力は音節が平均２音程度
（１１月　STとのアセスメントより）

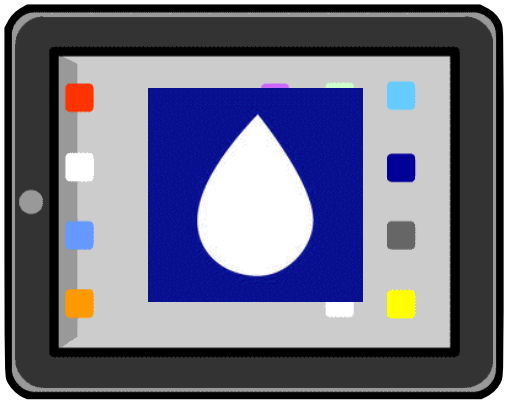
・言葉での名前呼びには、まだハードルがある

VOCAを使えば自分でできる！

Sちゃんとのこれから

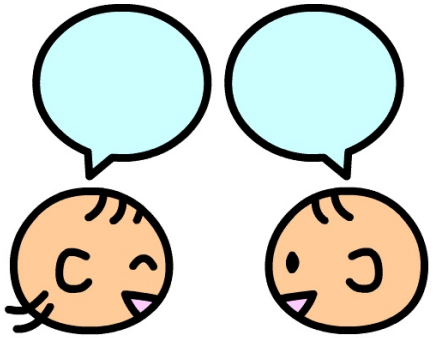
伝えられる事柄を増やすために

◉すぐにでも使える手段は？
◉獲得していける手段は？



VOCA

サイン・身振り



言葉

Sちゃんとのこれから

伝えられる事柄を増やすために

◉イメージと結びついた言葉を、ゆっくりと聞き、
ゆっくりと言葉に出して話す機会を持つ

身の回りの言葉とイメージを繋ぐ

イメージと言葉に文字を加えて確かめる

文字はこれからの課題！

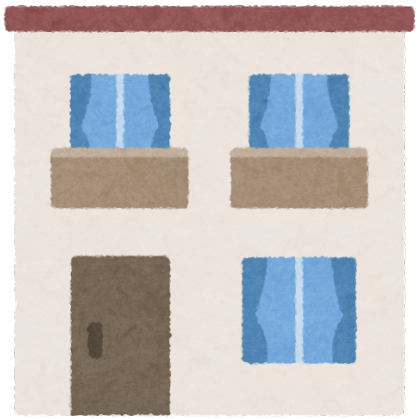
Sちゃんとのこれから

伝えられる事柄を増やすために

◉Sちゃんが獲得した表現が伝わる相手は？

相手を広げる

多くの友だち・先生
デイサービスの先生



家の人

iPadが
Sちゃんの
伝えあいを支える
ツールとなるように。